

視線・瞼開度検知技術のご紹介

近年、自動運転の機運が高まっています。自動運転システムでは何らかの異常等が発生し自動運転が継続できない場合に、自動運転システムからドライバーへ運転主体を切り替える必要があります。その運転主体の切り替えの際に、ドライバーが運転の準備が出来ていなければ、危険な状態に陥る可能性があるため、システムはドライバの状態を常にモニタリングしておく必要があります。

そのドライバーステータスマニターの技術として、カメラを使用した視線検知や瞼検知技術の紹介をいたします。

